

医学概論入門(アカデミックリテラシー教育科目) (Introduction to Medical Science(Academic Literacy))

【責任者/担当者】

〔心 理 学〕 室井 みや 教授
〔化 学〕 江 啓 祥 准教授

【担当者】

〔医学教育センター〕 平山 るみ 非常勤講師
〔数 学〕 葛城 大介 教授
〔物 理 学〕 福田 昭 教授、寺澤 大樹 講師
〔化 学〕 福島 和明 主任教授
〔生 物 学〕 山崎 尚 主任教授、菅原 文昭 准教授
〔情 報 学〕 藤原 康宏 教授
〔英 語〕 古瀬 明里 教授、作間 未織 准教授、丹治 美那子 助教
〔病態モデル研究センター〕 佐加良 英治 准教授
〔生理学生体機能部門〕 中村 望 助教、尾家 慶彦 助教

【目的】

医学は自然科学から人文社会科学までさまざまな分野を基礎とする科学であり、臨床における診断法や治療法は日進月歩で進化している。そのため、一度、最新の知識を得たとしも、それを記憶するだけでは限界があり、医学の進歩に対応できなくなる。つまり、医学では、単に与えられた情報を記憶するだけでなく、膨大な情報の中から正しい知識を選別し、それに基づいて議論し、正しく判断し、わかりやすく発信するスキルが求められる。この科目では、医学部での6年間の学修を支え、医師となってから、医学の進歩に対応出来るようになるための情報の処理と発信、思考、文章作成、討論などの基本的な能力を身につける。また、医学教育センター並びに各教養部門の教員がリソーサーとして指導し、自然科学及び人文社会科学双方の観点を身につけることを目的とする。

【科目キーワード】

「情報処理(Information Processing)」「情報発信(Presentation)」「論理的思考(Logical Thinking)」「論理的文章作成(Logical Writing)」「批判的思考(Critical Thinking)」

【到達目標(アウトカム)】

各ユニットにおける到達目標は以下の通りである。

批判的思考ユニット(UC):批判的思考を養う

リソーサー:平山 るみ 非常勤講師、古瀬 明里 教授、室井 みや 教授

- 批判的思考の基礎を身につける。
- 議論を明確化することができる。
- 根拠の確かさを判断することができる。

- 隠れた前提に気付くことができる。
- 思考のバイアスを理解し、注意することができる。

ディベートユニット(UD):ディベートで論理的思考を養う

リソーサー:藤原 康宏 教授、山崎 尚 主任教授、寺澤 大樹 講師

- 異なる立場、考え方を尊重し、受け入れることができる。
- 情報機器を利用した情報の中から、必要な情報を的確に取捨選択することができる。
- 自らの考えを論理的にまとめることができる。
- 相手の話しの論理を理解し、効果的な質問をすることができる。
- 自らの考えを論理的に話すことができる。

イントロダクションユニット(UI):自己分析とコミュニケーション力を鍛える

リソーサー:福田 昭 教授、福島 和明 主任教授

- 医師としての自分の将来像を提示し、医師としての夢を語れるようになる。
- 自分がなぜ医学部に入学したのか、考え方を整理する。
- 自分の医師としての夢を、他の学生に分かりやすく説明できる。
- 自分の興味ある分野が、世界的に見てどのような状況にあるか説明できる。
- 同様の夢を持つ同僚と、将来の夢を共有し、コミュニケーションを取れる。
- 同僚の学生の話す、真摯に聞き取り、適切なアドバイスができる。

統計ユニット(US):医療倫理と医療統計

リソーサー:葛城 大介 教授、作間 未織 准教授、江崎 啓祥 准教授

- 医療倫理の考え方を身につける。
- 統計的な考え方を身につける。
- 因果関係と相関関係について判断することができる。
- 与えられたデータを critical appraisal(批判的吟味)することができる。
- 他者が理解できるように意見を発表できる。

文章作成ユニット(UW):論理的文章の書き方

リソーサー:菅原 文昭 准教授、佐加良 英治 准教授、丹治 美那子 助教

- 論理的な文章とは何かがわかる。
- 適切な結論を考えることができる。
- 根拠をきちんと示すことができる。
- 必要な資料を正しく引用することができる。

【ディプロマ・ポリシーと授業科目の関連】

- ・文化的・社会的な知識を有している。
- ・医療の持つ社会的側面の重要性を理解している。

- ・医の倫理、生命倫理について理解している。
- ・他者を理解し、互いの立場を尊重できる。
- ・他者の立場を考えて接することができる。
- ・医学研究を知っている。
- ・自己管理能力を身に付け、自ら学修できる。
- ・同級生と教え合う態度を養成できる。

【概要ならびに履修方法】

- ・全体を 5 つのユニットに分けて学修する。各ユニットでは担当のリソーサー教員が全体の運営を統括する。リソーサーは、ユニットごとにテーマに基づく課題を与え、ユニットの進行状況に応じて適宜情報を提供する。
- ・各ユニットで、学生はグループに分かれて学修し、グループごとに割り当てられたチューター教員が、活動のサポートおよび評価を行う。
- ・学生は、与えられた時間(自学自修時間を含む)を利用して、情報収集、課題レポートの作成、発表会の準備等を行う。

【準備学修ならびに事後学修に要する時間】

情報収集、レポート作成、発表準備など、ユニットごとに指示する内容について、それぞれ、1、2 時間程度必要である。

【成績の評価方法・基準】

各ユニットでのリソーサーの評価に、チューターの評価を加えて医学概論入門の成績とする。各ユニットの成績がすべて 65 点以上であれば合格とする。なお、履修態度も評価に加え、態度不良の場合は点数にかかわらず不合格とする。再試験は行わない。各ユニットにおける評価の割合は以下の通りである。

UC: 提出物 50%、グループ活動評価 50%

UD: 提出物 60%、発表会評価 40%

※未提出の提出物がある場合、提出物の評価は 0 点、発表会を 1 回でも欠席した場合、発表会の評価は 0 点とする

UI: 提出・成果物評価 60%程度、平常点(出席、作業態度、発表態度等)40%程度

US: 提出物 60%、平常点(出席、態度、発表)40%

UW: 提出物 80%、グループ活動評価 20%

【学生への助言】

リソーサー及びチューターの指示する内容をきちんと聞き、課題に真面目に取り組むこと。

【フィードバック方針】

いくつかの提出物について、結果のフィードバックを行う。再試験は行わないため、それ以外の成績についての問い合わせには応じない。

【オフィスアワー】

リソーサーごとに指定する。

【受講のルール、注意事項、その他】

全出席を前提とする。各授業の最初に課題を説明するため、遅刻はしないこと。

【教科書】

なし

【参考書】

ディベートユニット(UD)

「大学生のための「読む・書く・プレゼン・ディベート」の方法(改訂第2版)」松本茂、河野哲也 著
(玉川大学出版部)2015年

文章作成ユニット(UW)

「ロジカル・ライティング」照屋華子 著(東洋経済新報社)2006年

「論理が伝わる世界標準の「書く技術」(ブルーバックス)」倉島保美 著(講談社)2012年

【連絡先】

教育研究棟 5階 教養部門 各ユニットのリソーサー居室